

2026 年 1 月 20 日

## 日本初！絶滅危惧種再生による J ブルークレジット® の認証

～確実性評価 95%という高い評価での認証を獲得～

東京海上アセットマネジメント株式会社（代表取締役社長兼 CEO：長澤 和哉、以下「TMAM」）は、沖縄セルラー電話株式会社（代表取締役社長 宮倉 康彰）、株式会社琉球銀行（頭取 島袋 健）、株式会社サンエー（代表取締役社長 豊田 沢）の三社とともに、沖縄県石垣島の野底エリアで進める絶滅危惧種ウミショウブ（注 1）の保全活動において、このほど「J ブルークレジット®」（注 2）の認証を獲得しました。

J ブルークレジット® の創出に向けたモニタリング活動では、**ドローンによる空撮（オルソ化画像活用）や水中でのコドラート撮影、乾燥重量の計測等による定量的な計測を行うことで、ジャパンブルーエコノミー技術研究組合（JBE）より確実性評価 95%という高い評価での認証**を取得しました。

**絶滅危惧種を対象とした J ブルークレジット® の創出は、本プロジェクトが国内初の事例となります。**今回、2024 年 7 月 1 日から 1 年間の活動で再生されたウミショウブの CO<sub>2</sub>吸収量「0.6 トン」が、クレジットとして認証されました。本クレジットは企業の CO<sub>2</sub>オフセット等に活用し、沖縄の生物多様性に富んだ豊かな海を守りながら地球温暖化防止に貢献します。

### <認証内容>

プロジェクト名称	石垣市野底における絶滅危惧種ウミショウブの再生
クレジット認証対象期間	2024 年 7 月 1 日から 2025 年 6 月 30 日まで
認証対象吸収量	0.6 [t-CO <sub>2</sub> ]
対象とする面積	0.08ha
プロジェクト実施開始日	2023 年 8 月～現在



<ウミショウブ>



<防護柵を設置した保全エリア>

（注 1）環境省の絶滅危惧Ⅱ類に分類されている希少種。国内では石垣島と西表島の浅瀬だけで見られる希少な海草の一種で、海洋生物のすみかや CO<sub>2</sub>の吸収源となるなど、沖縄の海の環境を守る重要な役割を担っています。

(注 2) J ブルークレジット<sup>®</sup>は、ジャパブルーエコノミー技術研究組合 (JBE) が運営主体であり、JBE から独立した第三者委員会による審査・意見を経て、JBE が認証・発行・管理する独自のクレジットです。

#### 《東京海上アセットマネジメントのサステナビリティ》

TMAM はこれらの取組みを通じて、金融の力を使い海洋や森林、農業などの分野で脱炭素と生物多様性保全の推進に貢献することを目指します。また、東京海上グループを始め様々な企業や地域との連携や未来世代への教育を通じて日本経済の発展に貢献してまいります。

#### ■ お問い合わせ

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

東京海上アセットマネジメント株式会社

当事業担当：岡田

TEL：03-3212-8301

E-mail：esg\_info@tokiomarineam.co.jp

以上